世界のサステナブル投資ファンドの資金動向
2025 年第 4 四半期

ESG を巡る逆風が強まり、2025 年は資金流出が継続

モーニングスター
2026 年 2 月

目次

2 世界のサステナブル投資ファンドの動向
9 日本の動向
12 付録

柳　珠理 CFA
モーニングスター・ジャパン
マネジャー・リサーチ部
アナリスト
+81 3 4520-2195
juri.yanagi@morningstar.com

重要事項
Morningstar のアナリストの行為は、倫理規程/職業行為規範ポリシー、個人の証券等取引（またはこれに準ずる）ポリシーおよび投資調査ポリシーによって規定されています。利益相反に関する詳細については、以下をご覧ください。
global.morningstar.com/equitydisclosures

概要

モーニングスターでは、四半期ごとにサステナブル投資ファンドの資金動向に関するグローバル・レポートを発表している。本日本語版レポートは、2025 年第 4 四半期のグローバル・レポートの抜粋であり、サステナブル投資ファンドの市場動向を検証するとともに、日本におけるサステナブル投資ファンドの資金動向、運用資産残高、また新規設定について取り上げる。

主なポイント

- 2025 年第 4 四半期、世界のサステナブル投資ファンド（オープンエンド型ファンドと ETF）は、推定で純資金流出額 272 億ドル（米ドル、以降特段の記載がない限り同様）を記録したが、純資金流出額は前四半期に記録した 549 億ドルから半減した。2025 年下半期における売り圧力の主因は、英国の大口機関投資家による資金引き揚げであり、サステナブル投資ファンドからカスタム ESG 運用委託契約へと資産を移行する動きが影響した。それでもなお、全体的な環境は引き続き厳しく、持続的な逆風が投資家心理の重石となった。
- 2025 年通年では、世界のサステナブル投資ファンドは 840 億ドルの純資金流出となり、2024 年の 382 億ドルの純資金流入から大きく反転した。
- 米国では 13 四半期連続で資金流出が続いており、直近 3 カ月で累計 46 億ドルの資金が流出した。
- その他の地域では第 3 四半期の純資金流入から転じて、第 4 四半期は純資金流出を記録した。日本での資金流出も継続し、純資金流出額は 15 億ドルとなった。
- 2025 年は ESG を巡る逆風が強まり、ESG 投資に対して厳しい一年となった。サステナブル投資ファンドに対する投資家需要の後退に影響を与えた要因としては、地政学リスクの高まり、反 ESG の潮流、規制の不透明感、ならびにパフォーマンスのばらつきが挙げられる。
- 世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高は、継続的な純資金流出があったにもかかわらず、第 4 四半期に前四半期から 4%増加し、全体で 3.9 兆ドルに達した。これは、主に株式市場が好調であったことによるものである。2018 年末以降、世界のサステナブル投資ファンドの資産残高は約 6,000 億ドルから 6 倍超に拡大している。
- 新規設定は引き続き低調で、第 4 四半期は世界全体で 40 本のサステナブル投資ファンドが新たに設定されたことにとどまった。

世界のサステナブル投資ファンドの動向

世界のサステナブル投資ファンド・ユニバースは、目論見書や規制当局への提出書類などで、持続可能性、インパクト、ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素に焦点を当てることを表明しているオープンエンド型ファンドと ETF（上場投資信託）で構成されるものである [1]。

本レポートでは、世界のサステナブル投資ファンドのユニバースを欧州、米国、その他の地域の国籍ごとに分類している。カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本についてはより詳細なデータを掲載している。中国、香港、インド、インドネシア、マレーシア、シンガポール、台湾、タイ、韓国は資産規模が比較的小さいため、「アジア（除く日本）」として分類している。日本語版のレポートでは日本以外の詳細なデータは割愛しているため、各地域の詳細については、原文の英語版レポートを参照されたい。

ここからは、世界のサステナブル投資ファンドにおける直近の資金動向に焦点を当て、2025 年第 4 四半期の地域別資金フロー、運用資産残高、新規設定について詳述する。以下の図表 1 は概要となる。

図表 1 世界のサステナブル投資ファンドの概要

	純資金流入額 Q4 2025	純資金流入額 Q3 2025	運用資産残高 Q4 2025		ファンド数 Q4 2025	
地域	十億米ドル	十億米ドル	十億米ドル	割合%	本数	割合%
欧州	-20.0	-49.6	3,342	86	5,231	74
米国	-4.6	-4.8	368	9	454	6
アジア（除く日本）	-1.4	-0.5	90	2	662	9
カナダ	-0.1	0.5	42	1	231	3
オーストラリア・NZ	0.4	0.3	38	1	258	4
日本	-1.5	-0.8	22	1	228	3
全体	**-27.2**	**-54.9**	**3,901**		**7,064**	

出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。マネーマーケット・ファンド、ファンド・オブ・ファンズ、フィーダー・ファンドはユニバースから除外している。ただし、米国およびカナダ籍については、ファンド・オブ・ファンズとフィーダー・ファンドは本数の統計に含まれる。（純資産総額や資金フローの統計には含まれない。）また、日本籍と韓国籍は、ファンド・オブ・ファンズとフィーダー・ファンドを本数、純資産総額、資金フローの統計に含めている。

世界のサステナブル投資ファンドは 2025 年第 4 四半期に 272 億ドルの純資金流出を記録した。純資金流出額は第 3 四半期の 549 億ドル（遡及修正値、以降特段の断りのない限り第 3 四半期の数値は同様）から半減した。欧州では、第 3 四半期に記録した 496 億米ドルという異例の大規模な資金流出に続き、第 4 四半期も 200 億米ドルの純資金流出となった。両四半期を合わせた 2025 年下半期における資金流出の大部分は、より高い運用の柔軟性を確保するために、英国の大口機関投資家が既存のサ

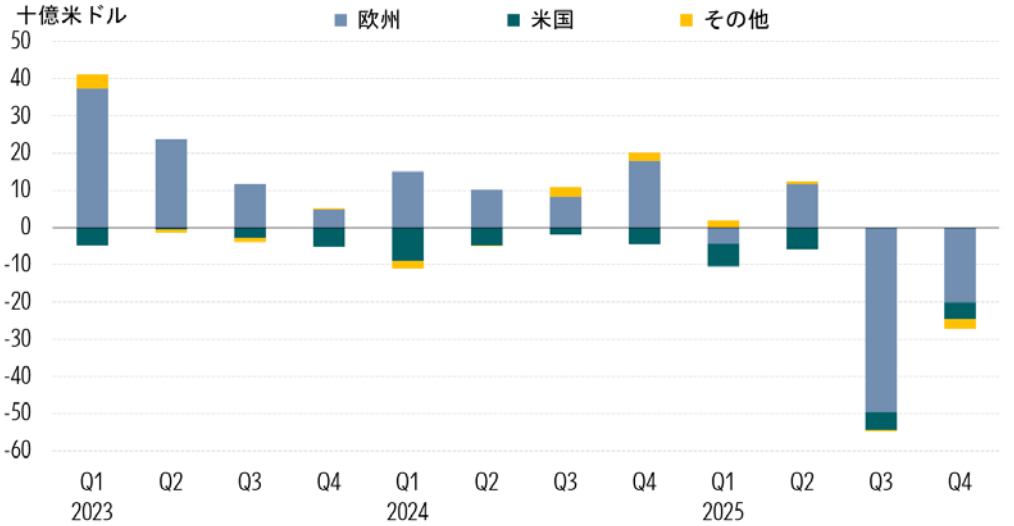
[1] モーニングスターにおける「サステナブル投資ファンド」の定義は、特定の規制枠組みに基づくものではなく、またいかなる規制枠組みの基準を満たしたものでもないことにご留意頂きたい。詳細は付録をご参照。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

ステナブル投資ファンドからカスタム ESG 運用委託契約に資産を移管する動きによる影響である [2]。

米国も第 4 四半期に 46 億ドルの純資金流出を記録し、13 四半期連続の資金流出となり、流出額は前四半期の 48 億ドル（遡及修正値）と概ね同水準で推移した。その他の地域については、総じて純資金流出となったが、オーストラリアおよびニュージーランドは例外であり、第 3 四半期からの純流入が続き、第 4 四半期に合計で 7.3 億ドルの純資金流入を記録した。

図表 2a 世界のサステナブル投資ファンドの四半期資金純流出入額の推移



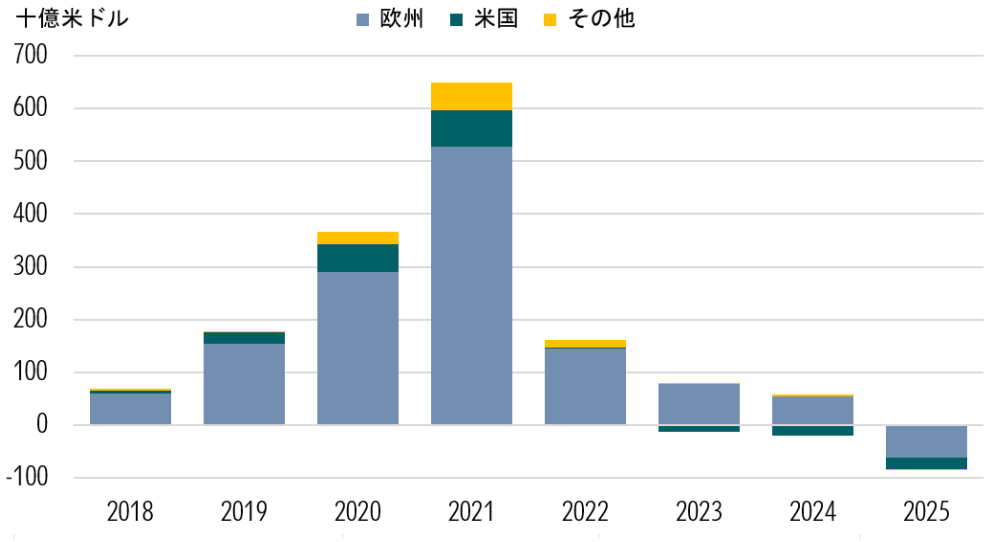
出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

2025 年通年で、世界のサステナブル投資ファンドは 840 億ドルの純資金流出となり、2024 年の 382 億ドルの純資金流入から大きく反転した。サステナブル投資ファンドの資金動向の計測を開始した 2018 年以降、初めて年間ベースで純流出となった。地域別に見ると、欧州およびその他の地域にとっても初めての年間純資金流出となった一方、米国では 3 年連続の純資金流出となった。

2 モーニングスターでは、個別運用マンデートに関するデータを収集していない。そのため、モーニングスターが計測しているサステナブル投資ファンド・ユニバースから資金が移動した場合、実務上は同一運用会社内で口座間の移管に過ぎないケースであっても、データ上は純資金流出として計上される。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

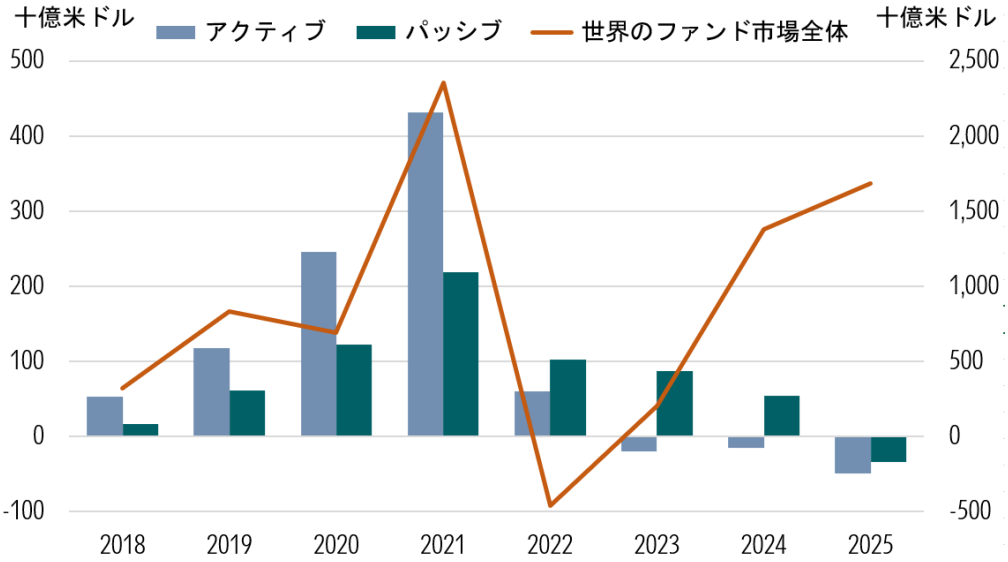
図表 2b 世界のサステナブル投資ファンドの年間資金純流出入額の推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

アクティブ運用およびパッシブ運用別でみると、ともに純資金流出となった。パッシブ運用のサステナブル投資ファンドは、約 346 億ドルの純資金流出となり、年間ベースで初の資金流出を記録した。アクティブ運用のサステナブル投資ファンドも、495 億ドルに及ぶ過去最大規模の純資金流出に直面した。これに対し、同期間におけるグローバルの公募ファンドおよび ETF 市場全体では、約 1.7 兆ドルの純資金流入が確認されている。

図表 2c アクティブ・パッシブ運用別の年間資金純流出入額の推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

2025 年が地政学リスクの高まり、ESG を巡る逆風、ならびに政策進展の不均衡を背景に、ESG およびサステナブル投資にとって厳しい年となったことは否めない。米国

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

では新政権の発足が、明確な反 ESG 姿勢と規制緩和への転換を示し、重要な節目となった。これを受けて欧州では、サステナビリティ関連開示規制に関する前向きな取り組みを一部後退させ、経済成長および競争力の確保を優先する動きが見られた。こうした不安定な政治・政策環境の中で、多くの投資家は、企業がサステナビリティへの取り組みを維持するのかについて疑問を抱く状況となった。

2025 年はパフォーマンス面でも課題の多い年となった。モーニングスターのサステナビリティ指数を同時価総額指数と比較すると、2025 年は 2018 年以降で 2 番目に不調な年となり、2022 年に次ぐ結果となった。モーニングスターが実施した最近の調査によれば、2025 年における ESG 関連指数全体の成功率は低下し、非 ESG 指数のパフォーマンスを上回った ESG 関連指数は 26%にとどまった。これは、2024 年の 45%から大きく低下している。この背景には、パフォーマンスの超大型銘柄への集中、炭素集約度の高い業種での高いリターン、および防衛関連銘柄の相対的に低いエクスポージャーなど、複数の要因が影響している。また、相対的なアクティブ・シェアが高い戦略ほど、厳しいパフォーマンス環境に直面した。（サステナブル投資のパフォーマンスに関する詳細は、「In an AI-Led Stock Market, Sustainable Investments Struggle to Keep Up」を参照。）

2025 年における純資金流出や、それ以前の数年間に見られたサステナブル投資ファンドへの資金流入の鈍化は、投資家のサステナブル投資に対する関心が引き続き高水準にあることを示す複数の調査結果とは対照的である。モルガン・スタンレーの最新調査によれば、世界の個人投資家の 88%がサステナブル投資に関心を示している。特に個人投資家の中でも若年層において関心が最も高く、今後、彼らの金融面での影響力が拡大するにつれて、サステナビリティは一段と重要な投資テーマとなることが示唆される。同様に、アセット・オーナーの 86%が、今後 2 年間でサステナブル投資への配分を増やす見通しを示している。

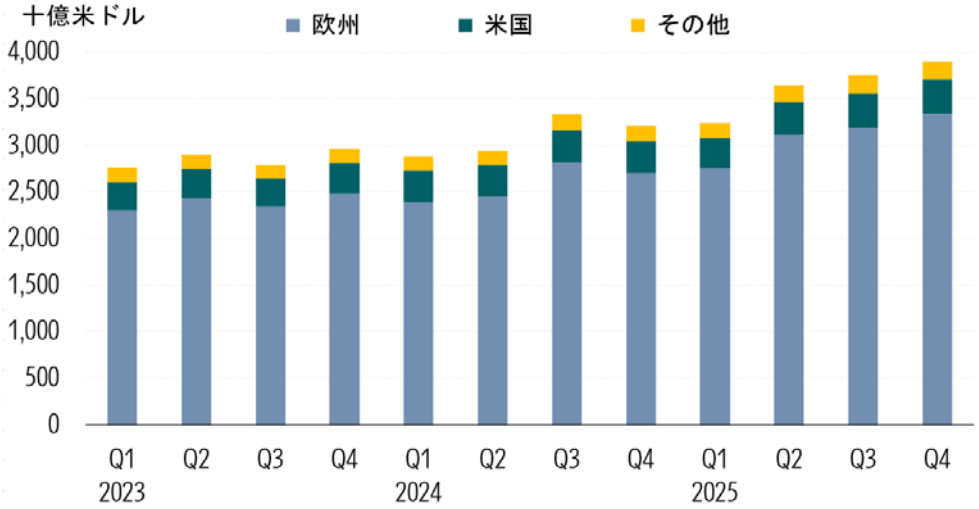
サステナブル投資に関する詳細な考察については、「Sustainable Investing Trends to Watch in 2026」をご参照ください。

上昇相場の中、サステナブル投資ファンドの残高が 3.9 兆ドルに到達

2025 年第 4 四半期、世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高は、主に好調な株式市場に支えられ、前四半期末の 3.75 兆ドルから 4%増加し、12 月末時点で 3.9 兆ドルに達した。第 4 四半期は、Morningstar グローバル株式指数は 3.3%上昇し、Morningstar グローバル社債指数は 0.17%の小幅な上昇となった。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

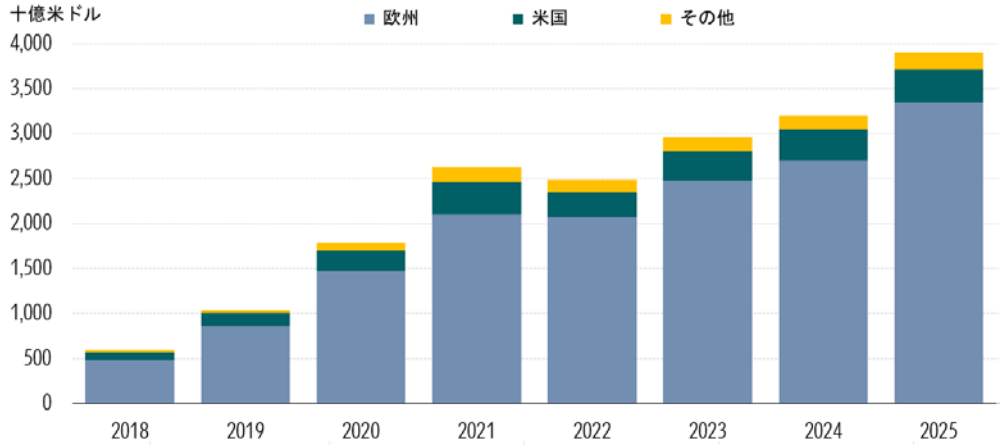
図表 3a　世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高四半期推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

2018 年末以降、世界のサステナブル投資ファンドの資産残高は約 6,000 億ドルから 3.9 兆ドルに成長し、6 倍超に拡大している。この成長は、サステナビリティ課題（特に気候変動）に対する投資家の関心の高まりに加え、規制面での追い風（とりわけ欧州）、ESG データの改善、ならびに商品イノベーションの進展に支えられてきた。

図表 3b　世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高年間推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

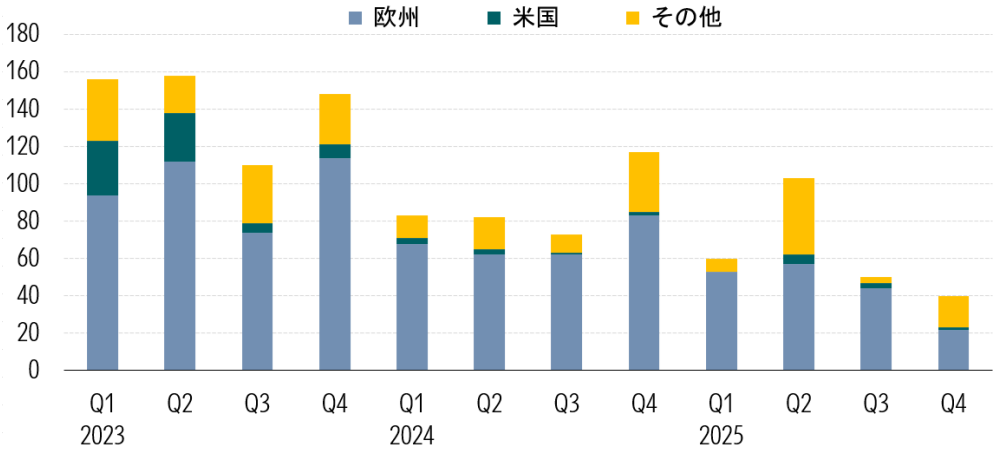
地域別の運用資産残高を見ると、欧州が全体の 86%を占め、次いで米国が 9%を占め、残りはその他の地域である。特に欧州では、オープンエンド型ファンドおよび ETF 全体の運用残高の約 20%をサステナブル投資ファンドが占めており、その普及度が際立っている。一方、米国ではその割合はわずか 1%に留まっており、その他の地域ではサステナブル投資ファンドの割合にばらつきが見られる。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

世界のサステナブル投資ファンドの新規設定

世界のサステナブル投資ファンドの新規設定数は引き続き低調であり、第 4 四半期には 40 本にとどまった。第 3 四半期の 50 本（遡及修正値）から減少している。なお、今後のレポート執筆時点で、モーニングスターへの追加報告により新規設定ファンドの数が増える可能性があり、これらの数値は上方修正される可能性が高い点に留意が必要である。地域別では、欧州、ニュージーランドおよび中国が新規設定数の上位を占めた。

図表 4　世界のサステナブル投資ファンドの新規設定数の四半期推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

ブラックロックが引き続き首位に

以下では、サステナブル投資ファンドを世界的に展開している主要な資産運用会社を紹介する。世界最大の運用会社であるブラックロックは、ESG に特化したオープンエンド型ファンドおよび ETF で約 4,526 億ドルの運用資産残高を誇り、サステナブル投資分野で首位の地位を引き続き維持している。アムンディは 2025 年第 4 四半期に 2,157 億ドルの運用資産残高を持ち、第二位に位置している。UBS の運用資産残高は 2,079 億ドルに達し、年末時点で第三位となった。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

図表 5 サステナブル投資ファンドの運用資産残高の上位運用会社

全体			アクティブ運用			パッシブ運用		
運用会社	運用資産残高（十億米ドル）	資金フロー（百万米ドル）	運用会社	運用資産残高（十億米ドル）	資金フロー（百万米ドル）	運用会社	運用資産残高（十億米ドル）	資金フロー（百万米ドル）
BlackRock (incl. iShares)	452.6	-3,676	BlackRock (incl. iShares)	130.2	-4,278	BlackRock (incl. iShares)	322.4	602
Amundi (incl. Lyxor)	215.7	8,664	Natixis	106.9	5,406	Amundi (incl. Lyxor)	122.8	6,231
UBS (incl. Credit Suisse)	207.9	-578	Amundi (incl. Lyxor)	93.0	2,432	UBS (incl. Credit Suisse)	121.6	411
BNP Paribas	123.9	-1,854	Nordea	91.0	1,573	Vanguard	65.7	-51
Swisscanto	122.7	977	UBS (incl. Credit Suisse)	86.3	-989	Swisscanto	59.1	1,113
DWS (incl. Xtrackers)	116.4	-873	BNP Paribas	81.3	-3,162	Northern Trust	58.5	-706
Natixis	109.7	5,043	KBC	75.5	382	DWS (incl. Xtrackers)	55.4	160
Nordea	91.0	1,573	Swisscanto	63.6	-136	Handelsbanken	43.7	409
KBC	75.6	381	DWS (incl. Xtrackers)	61.0	-1,033	BNP Paribas	42.6	1,308
Vanguard	69.5	-174	Allianz Global Investors	59.0	240	Länsförsäkringar	27.4	195
Northern Trust	63.6	-747	Royal London	44.7	-93	Legal & General	25.6	-1,056
Allianz Global Investors	59.0	240	JPMorgan	43.5	-2,230	State Street	23.0	-2,210
Handelsbanken	49.8	640	Pictet	42.4	-1,721	Invesco	22.5	776
JPMorgan	47.5	-2,636	Union Investment	38.8	-168	Cathay Securities Investment T	15.1	-284
Royal London	44.7	-93	Parnassus	34.1	-2,803	HSBC	12.5	78
Pictet	44.0	-1,790	Dimensional	33.9	-388	Morgan Stanley (incl. Calvert)	12.3	-93
Union Investment	38.8	-168	Goldman Sachs (incl. NNIP)	32.8	-1,115	Mercer Global Investments	11.4	564
Morgan Stanley (incl. Calvert)	36.5	-1,110	Robeco	31.1	-28	Storebrand Fonder	10.8	7
Parnassus	34.1	-2,803	LBP AM	30.6	796	Capital Investment Trust	9.3	82
Dimensional	33.9	-388	Vontobel	29.5	-336	First Trust	9.0	1,612

出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

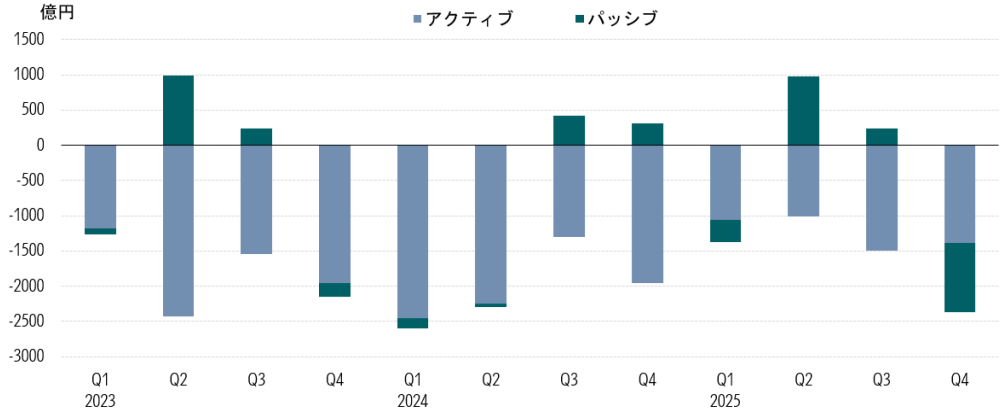
日本の動向

純資金流出が継続

2025 年第 4 四半期も日本のサステナブル投資ファンド（公募追加型株式投資信託および ETF）からの純資金流出は継続し、14 四半期連続の純流出となった。第 4 四半期は 15 億ドル（2,374 億円）の純資金流出を記録し、第 3 四半期の 8.4 億ドル（1,258 億円 [3]）の純資金流出額の概ね 2 倍となった。一方、日本のファンド市場全体では、第 4 四半期に約 290 億ドル（4.6 兆円）以上の純資金流入を記録した。

アクティブ運用ファンドは 15 四半期連続で純資金流出となり、第 4 四半期の純資金流出額は 8.9 億ドル（1,382 億円）を記録した。一方、パッシブ運用ファンドについても、当該期間中に投資家需要が弱含み、第 3 四半期の小幅な純流入から転じて、第 4 四半期には 6.4 億ドル（992 億円）の純資金流出額を記録した。

図表 6　日本のサステナブル投資ファンドの純資金流入額の四半期推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。日本籍ファンドについてはファンド・オブ・ファンズとフィーダー・ファンドを統計に含めている。日本籍ファンドの中には、外国籍のファンドを投資対象とするものがあるため、世界レベルの統計で一部重複計上があることをご留意頂きたい。

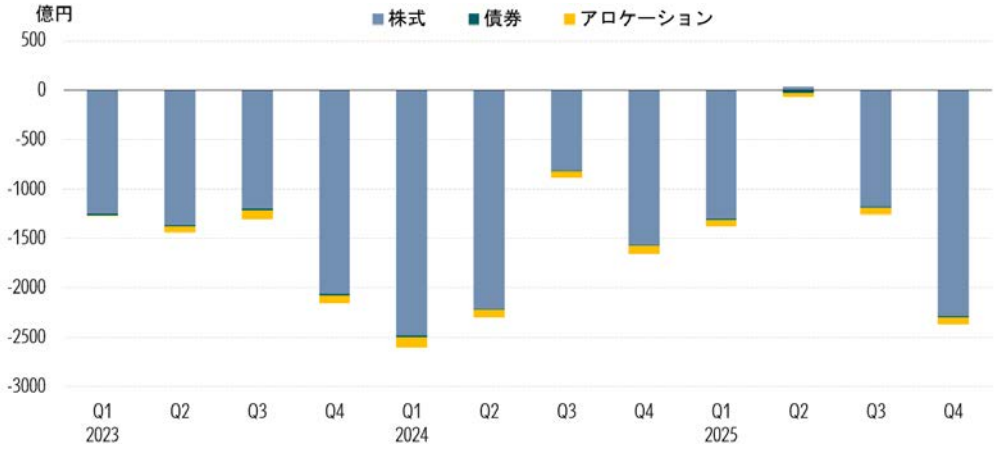
NEXT FUNDS MSCI ジャパン気候変動指数（セレクト）連動型上場投信は、第 3 四半期には日本のサステナブル投資ファンドの中で純資金流入額最大のファンドであったが、今四半期は約 4.8 億ドル（744 億円）の純資金流出を記録し、純資金流出額最大のファンドとなった。この結果、パッシブ運用ファンド全体の純流出額の約 4 分の 3 を同 ETF が占める結果となった。なお同 ETF は、ネガティブスクリーニングや温室効果ガス排出量を一定以下に抑える基準を活用する指数に連動するものである。

2025 年第 4 四半期において、日本のサステナブル投資ファンドの 95%超を占める株式型ファンドは 14.7 億ドル（2,289 億円）の純資金流出を記録した。一方、債券型ファンドは 640 万ドル（10 億円）の純資金流出にとどまり、アロケーション型ファンドについては 4,746 万ドル（74 億円）の純資金流出となった。

3 米ドルベースの金額は、個別ファンドごとに各月の為替レートを用いて円からドルに換算したものである。従って、四半期の合計値を一時点の為替レートを用いて換算した値とは異なる。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

図表 7 日本のサステナブル投資ファンドの資産クラス別純資金流入額の四半期推移

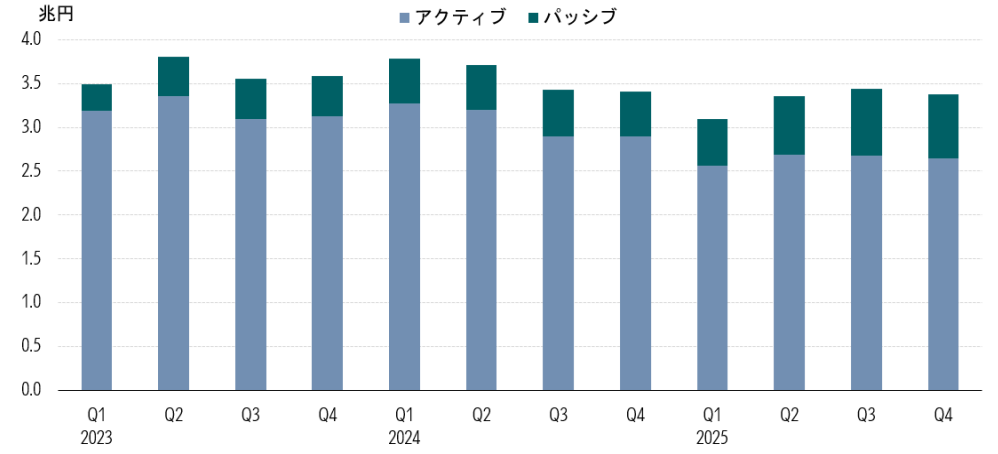


出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

運用資産残高は減少傾向

日本籍のサステナブル投資ファンドの 2025 年第 4 四半期末の運用資産残高は、継続的な純資金流出の影響を受け、前四半期ドルベース対比で 7%減の 215 億ドル（3.4 兆円）となった。一方、同期間における日本株式市場全体は、Morningstar 日本株式指数で測定すると 8.9%上昇した。アクティブ運用ファンドが依然として大半を占め、サステナブル投資ファンドの運用資産残高全体の 80%を占めている。また、アクティブ運用を行う株式型のサステナブル投資ファンドが、サステナブル投資ファンド全体の 75%を占めている。

図表 8 日本のサステナブル投資ファンドの運用資産残高の四半期推移



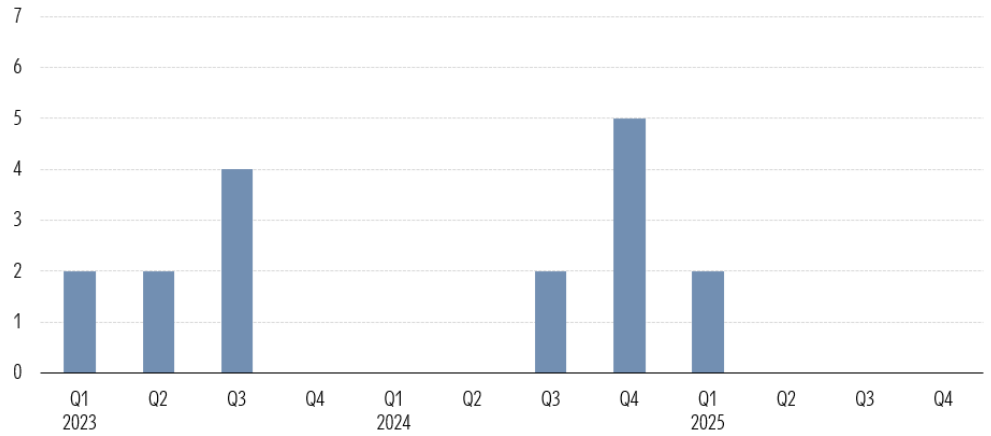
出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

新規設定は停滞

2025 年第 4 四半期、日本籍のサステナブル投資ファンドの新規設定はなかった。また、2025 年は第 2 四半期以降、日本籍のサステナブル投資ファンドの新規設定はなかった。

図表 9 日本のサステナブル投資ファンドの新規設定ファンド数推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 12 月末時点。

規制動向

2025 年 10 月、金融庁および日本取引所グループは、2026 年半ばに予定されているコーポレートガバナンス・コードおよびスチュワードシップ・コードの改訂に向け、「コーポレートガバナンス・コードの改訂に関する有識者会議」を開催した。今回の改訂に向けて、論点としては企業の現預金の使途や資本配分方針に関する開示の充実に加え、有価証券報告書の定時総会前の開示などが示された。

2025 年 11 月、金融庁は、金融審議会「サステナビリティ情報の開示と保証のあり方に関するワーキング・グループ」の中間論点整理を踏まえ、「企業内容等の開示に関する内閣府令」等の改正（案）を公表した。本改正案では、東証プライム市場上場企業のうち、平均時価総額が 1 兆円（約 640 億米ドル）を超える企業に対して、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）が策定する基準の適用を義務付ける一方、同水準未満の企業については任意適用とすることが示されている。また、本改正案には、将来見通しや推計に基づく開示に伴う法的・コンプライアンス上のリスクを軽減することを目的として、スコープ 3 温室効果ガス排出量に関するセーフハーバー規定の導入も盛り込まれている。M

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

付録 世界のサステナブル投資ファンドのユニバース定義

世界のサステナブル投資ファンドのユニバースは、目論見書やその他の規制当局への提出書類において、サステナビリティ、インパクト、または環境・社会・ガバナンス（ESG）要因に重点を置いていると明示されているオープンエンド型ファンドおよび ETF から構成される。

モーニングスターの定義は、保有資産レベルで「サステナブル投資」を定義する EU のサステナブル・ファイナンス開示規則とは異なる [4]。当社の定義はいかなる規制枠組みにも基づいておらず、また特定の規制枠組みの基準を満たすものではない。

モーニングスターのサステナブル投資ファンドのユニバースは、保有資産に基づくものではなく、投資の目的に基づいている。投資の目的を特定するため、ファンド名（投資の目的を強く表す指標となる）とファンドの関連資料に記載されている情報を組み合わせて用いている。サステナブル投資ファンドのユニバースに含まれるためには、ファンドの関連資料にて、ESG 要素が銘柄選択およびポートフォリオ構築プロセスにおいて重要な位置を占めていることが明確に示されている必要がある。

世界のサステナブル投資ファンドのユニバースには、「ESG インテグレーション・ファンド」と呼ばれるファンドは含まれない。これらのファンドは、運用プロセスにおいて ESG 要素を組み入れることで ESG 要素がポートフォリオ構築に影響するものの、ESG への配慮を運用プロセスの中心に置いてはいないためである。

また、世界のサステナブル投資ファンドのユニバースには、非人道的武器、タバコ、火力発電用石炭など限定的な除外スクリーニングを採用するファンドは含まれない（ESG インテグレーションの有無にかかわらず）。ただし、ESG スクリーニングを行うパッシブ運用ファンドは、通常、除外スクリーニングが運用戦略の大きな特徴となるため、ユニバースに含めている。

資金フローと運用残高を計算する際には、重複計上を避けるため、フィーダーファンドとファンド・オブ・ファンズは除外している。ただし、日本籍のファンド・オブ・ファンズは日本国外のファンドに投資することが少なくないため、日本籍と韓国籍については、実際の資金フロー状況をより正確に反映するために例外を設けている。マネーマーケット・ファンドはすべての市場から除外されている。

---

4 SFDR 第 2 条(17)は、サステナブル投資を次のように定義している。

- 環境目標に貢献する経済活動への投資。例えば、エネルギー、再生可能エネルギー、原材料、水、土地の利用、廃棄物の生産、温室効果ガスの排出、または生物多様性および循環型経済への影響に関する主要資源効率指標によって測定されるもの。
- または、社会目標に貢献する経済活動への投資。特に、不平等の是正、社会的結束、社会統合、労使関係の促進、あるいは人的資本または経済的もしくは社会的に恵まれないコミュニティへの投資。
- ただし、これらの投資がこれらの目標のいずれにも重大な悪影響を及ぼさないことを条件とする。
- また、投資先企業が、特に健全な経営体制、従業員関係、従業員の報酬、および税務コンプライアンスに関して、優れたガバナンス慣行を遵守することを条件とする。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

アナリストは、それぞれの地域におけるサステナブル投資ファンドを特定するため、Morningstar Direct 内の「ESG Intentional Investment - Overall」（旧「Sustainable Investment-Overall」）のデータ項目を使用している。また、該当する場合は、ESG ファンドへの転換を考慮するために、「ESG Intentional Investment Overall Start Date」のデータ項目も使用している。

© 2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

Morningstar Manager Research Services ディスクロージャー（日本）

モーニングスター・マネジャー・リサーチについて

モーニングスター・マネジャー・リサーチは、運用商品の戦略に対し、独立の立場からのファンダメンタル分析を提供しています。運用担当者（People）、運用プロセス（Process）、運用会社（Parent）の 3 つの主要な評価軸についてのアナリストのリサーチに基づく見解は、モーニングスター・メダリスト・レーティングとして公表されます。世界中のリサーチチームが、投資商品、資産クラス、および各地域にまたがる戦略について、詳細なアナリスト・レポートを発行しています。 メダリスト・レーティングは、意見であり、事実の表明するものではなく、将来のパフォーマンスを示唆または保証するものでもありません。

モーニングスター・マネジャーリサーチ・サービスについて

モーニングスター・マネジャーリサーチ・サービシズは、モーニングスターのファンドリサーチ・レポート、レーティング、ソフトウェア、ツール、およびモーニングスター独自のデータの提供と、モーニングスターのマネジャーリサーチ・アナリストへのアクセスを同時に実現させています。銀行、ウェルスマネジャー、保険会社、政府系ファンド、年金基金、エンダウメント（寄贈基金）、財団などの機関投資家が、内部で行うデューデリジェンスを補完する機能を提供しています。モーニングスターのマネジャー・リサーチ・アナリストは、Morningstar, Inc.のさまざまな完全子会社（Morningstar Research Services LLC (USA)、Morningstar UK Ltd、および Morningstar Australasia Pty Ltd が含まれますが、これらに限定されません）に所属しています

お問い合わせ先

Morningstar Manager Research Services
ManagerResearchServices@Morningstar.com

モーニングスター・ジャパン株式会社
東京都港区新橋 1-1-1　日比谷ビルディング 6 階

©2026 Morningstar. All Rights Reserved. 別段の合意がない限り、本資料は配信者の所在する国においてのみ使用することができます。本資料に記載されている情報、データ、分析、意見は、投資助言ではなく情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。また、情報の正確性や完全性を保証するものでもありません。本資料の内容は、記載された日付時点のものであり、予告なく変更されることがあります。モーニングスターは、法律により定められている場合を除き、本資料の情報、データ、分析、意見を利用して行ったいかなる投資の判断、損失、損害に責任は負いません。本資料にはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。リサーチに関するライセンス利用のお問い合わせは+1 312 696-6869までご連絡ください。